

機関紙
News Release
ニュース リリース

第015号

発行者 大仙市手をつなぐ育成会
発行責任者 柴田 貞二
TEL 0187-65-2525
事務局 〒014-0802
大仙市払田字念仏谷地27-1
新田亮子 TEL 0187-69-3108

発行日 2015-12-1

第57回手をつなぐ育成会 秋田県大会(能代・山本大会)が開催されました。
とき 平成27年8月30日(日) ところ 能代市文化会館



秋田県内から保護者・本人合わせて、約500人の参加のもと上記の日程で開催されました。「手をつなぐ母の歌」から開始された式典には県福祉部次長・能代市長・地元の県会議員等の来賓のご出席を仰ぎ来賓皆様から祝辞・歓迎のお言葉を頂きました。「共に支え合う地域づくりを目指そう」をテーマにアトラクション、講演、シンポジウムと続き、その内容も充実した大会であったと思います。



大仙市手をつなぐ育成会からの参加者です。今年度は15名の参加者です。今回も大仙市の福祉バスを利用しました。午前7時30分には大仙市役所出発、自動車専用道路にて所要時間2時間のコースになりました。午前9時30分前には能代市文化会館に到着しました。今回も大仙市生活支援課職員の同乗です。バス利用者のチェック、安全に対する配慮等いつもお世話になり有難う御座いました。

秋田県知事表彰

秋田県知事表彰を受けた井上泰男氏です。長年に渡って西仙北地区での育成会活動が認められました。



秋田県手をつなぐ育成会会長表彰
大山市から長尾璣子(中仙地区)さんが受賞されました。
(欠席の為、写真等の記載は省略させていただきます)

出席者スナップ



代表して知事表彰を受けた井上氏です。



本人活動に参加したい!



本人活動「歌とゲームを楽しもう」参加しました。



志保美さんと一緒・・・「うまくできない・・・」



両高橋氏です。大仙市の実力者です。



主カメンバーになります。



茂木さん親子になります。

秋田県手をつなぐ親たち「第51号」が発行されました。会員皆様に配達され熟読されていると思います。その中で1ページから21ページに掛けて第57回手をつなぐ育成会秋田県大会(能代・山本大会)の内容が詳しく記載されています。最近に無いまとめ方で見応えのある内容です。重複しないようにしました。

平成27年度交流・親睦会

平成27年度の交流・親睦会は10月22日(木)横手市大森町にある「さくら荘」で行いました。参加者は22人ほど、市の福祉バスは使用せず、さくら荘の送迎バスでの使用です。今回は直接マイカーでの参加者が少なく、大半が送迎バスを使用、グランドゴルフに挑戦する方、温泉と食事、会話に元気を頂いた交流会でした。



午前10時前に山荘に着いた。早速、グランドゴルフに挑戦・・・18名の参加者、5組に分かれ熱戦が開始されました。



横手市大森町、リゾート公園になるでしょうか・・・近年、芝桜で有名になりました。グランドゴルフコースはその下にあります。羽後カントリークラブ有り、体育館、陸上競技場、水泳プール等の体育競技が出来る施設が整っています。コテージ有り、温泉有り・・・交流の場としては最高です。育成会会員も快晴に恵まれて快い汗を掻きました。

第3回・ボーリングとカラオケに集まれ!

とき 平成27年11月14日(土)

本人活動支援事業 大仙市手をつなぐ育成会

ところ 仙北ファミリーボウル



本人活動支援事業として今年で3回目になります。大仙市の入所施設での利用者、在宅にて諸支援施設で頑張っている利用者、保護者、一般の方々に参加の声掛けをしました。本人が15名、保護者が12名、会員・賛助会員等が8名ほど、全体で35名ほどの参加者でした。ボーリング9レーンを独占、2ゲームを消化しました。集合時間9時です。準備体操を終えて競技開始です。

レーン選手紹介



1組から4組の選手たちでしょう・自信满满です!



5組から8組の選手たちです・保護者が多かった・



成績表

| 順位 | 選手名 | HDCP | グロス | ネット | 摘要 |
|-------|----------|------|-----|-----|--------|
| 優勝 | 向平 慶一 | 40 | 230 | 270 | 2ゲーム |
| 準優勝 | 今 貴 史 | 40 | 220 | 260 | 々 |
| 第3位 | 藤 原 聡 | 40 | 219 | 259 | 々 |
| 第4位 | 加 藤 淳 | 40 | 218 | 258 | 々 |
| 第5位 | 工 藤 太 | 40 | 211 | 251 | 々 |
| 第5位タイ | 高 橋 研 | 40 | 211 | 251 | 々 |
| 第7位 | 加藤 千春 | 40 | 203 | 243 | 々 |
| 第8位 | 高橋 博幸 | 40 | 195 | 235 | 々 |
| 第9位 | 高 橋 修 | 40 | 191 | 231 | 々 |
| 第10位 | 富岡 喜晃 | 40 | 189 | 229 | 々 |
| 第11位 | 鈴木 彩恵 | 40 | 177 | 217 | 々 |
| 第12位 | 奥山 裕幸 | 40 | 154 | 194 | 々 |
| 第13位 | 西鳥羽和人 | 40 | 117 | 157 | 々 |
| 順位外 | 保護者16名最大 | 0 | 244 | 244 | 7位に該当 |
| 々 | 保護者最小 | 0 | 168 | 168 | 28位に該当 |



表彰式を前にして、選手全員による記念撮影です。優勝者の向平君に美味しい「みかん一箱」が贈られました。



カラオケコーナー



カラオケコーナーはボーリング場の二階にありました。「芋の子会」の会食が終わってカラオケの始まりです。演歌、ポップス、今はやりの歌等、三つの部屋に分かれて熱唱しました。驚くに「秋田県民歌」のリクエストにビックリ・・

感想文が届きました

ボーリング・カラオケ大会に参加して 奥山 悦子

大仙市手をつなぐ育成会主催によるボーリング・カラオケ大会に息子と参加させて頂きました。昨年はひとりで皆様のお世話になり、とっても楽しかったから、是非と言うので今年もさっそく申し込みました。できれば親子でということだったので、私もしぶしぶ(笑)雨の肌寒い中、向かいました。

いろいろな作業所に通っている方々や父兄の方々、何の会にもほとんど参加していなかった私は、グループごとのボーリングで本当に久しぶりに汗を流し、私の思いがけない様子に息子も「お母さん、来てよかったべ」と楽しそうでした。買い物につれ歩くことはあっても、このような機会はなかったと反省させられました。

みなさんと一緒に食べた「いもの子汁」の美味しかったこと、カラオケでも存分にエンジョイして、なかなか帰りがたがらず最後までねばりました。子供たちが楽しんでいる間、お母さん同志で情報交換したこともとても良い経験でした。ありがとうございました。又、来年もよろしくお願いします。

ボーリング・カラオケ大会に参加して 加藤美和子

一年一回のボーリングとカラオケを楽しむ会
今年も楽しく参加することができました。

最近は何も運動不足の母と姉
こんな機会がなければボーリングすることもなく
いい運動になりました。

ボーリングの球もガーターに落ちることもなく(?)
「わーい、やったあ」の連発!! プラス、ハイタッチでニコニコ笑顔。
得点はともかく 楽しませてもらいました。
終わったばかりですが、今から来年が楽しみです。

知ってほしい・知っておきたい(1)

一知的障害と「警察」一

全国手をつなぐ育成会連合会では育成会ミッションとして「知的障害理解と権利擁護」を題材に、今回「その1 警察版」を発行されました。「知ってほしい・知っておきたい一知的障害と「警察」」をテーマに冊子の中から抜粋して、2回ほどに分けて記載したいと思います。冊子の利用方法に身近な仲間と勉強会をしましょうと謳っています。それに添った情報伝達であると理解して頂ければ幸いです。

第1章 共通理解のため

1. 障害分野では法設備が進んでいます。・近年、障害者の権利に関する法制度の整備が進んでいます。
・2014.1.20 障害者の権利条約 日本国は批准しました。・障害者差別解消法 2016.4.1 から施行になります。
2. 社会の目が厳しくなっています。・近年、治安が悪化したと言われ、防犯カメラ当たり前の社会。相互不信社会という状況「不審者をみたらすぐ110番通報を」の立看板も目につきます。
3. 刑務所に知的障害者が多くなっています。・親たちは危機感を抱いています。

軽微な犯罪を起こした知的障害者は、自分を守ることが苦手で同じ行動を繰り返してしまい、家族の支援が弱かったりすれば、実刑になってしまう。

4. 刑事罰から福祉へ・・・本来であれば福祉で支援すべき人が社会からこぼれ落ち、刑務所に入ってしまう。
安心できる社会を築き上げることは、社会秩序を守る警察の使命とつながる。流れを変えたいものです。
5. 地域に受け皿ができつつあります。・近年、刑務所から出る人達に対して福祉へつながる道筋ができました。
裁判においても実刑を選ばずに、福祉での更正を図ることも試行されています。「地域生活定着支援センター設立」
6. 刑罰?福祉?どちらが知的障害者のためになる?・・・軽微な罪を重ねて、社会と刑務所を行き来する累犯者の中に
住む場所や定職のない人や知的障害者が多いことが分かった。刑罰が適切か、福祉の方が適切か、司法と福祉の連携

第2章 警察に「知ってほしい」こと

特性①・・・知的障害者は

「行方不明」になります

まず泣きません。ケロットしています。「困った感」がありません。その為、迷子だと気付くのが遅れてしまいます。

特性②・・・知的障害者は

「不審者」と間違えられます

体感治安が悪化していることから、犯罪者予備軍というべき「不審者」への関心が高まっています。

特性③・・・知的障害者は

「感覚が過敏」な人がいます。

一旦パニックを起こすと、平常心に戻るのに時間がかかり、本人も苦しく、周りの人も苦慮することが多い。

特性④・・・知的障害者は

被害を訴えるのが苦手です

トラブルに遭っても自分から被害を訴えることができない特性のある人もいます。又、訴えても社会は聞く耳を持たず、問題を放置したり、不適切な対応に終始して問題が深刻になった例があります。

特性⑤・・・知的障害者は

「バランスが悪い」のです。

一旦、何かにこだわると、そこから抜け出せないという特性のある人がいます。「やっていけないこと」と注意を受けても別の選択肢があると思いつかない。その結果、誤った行動等、繰り返すことになり、周開から浮き上がることに。

特性⑥・・・知的障害者は

「万引き」と誤解されます

コンビニどこにでもあって、入りやすく便利で、目に付く商品が一杯、大好きです。今の時代「万引きは犯罪です。すぐ警察に通報します」と掲示されています。お金を払わないことを悪いことだと思っていない人もいます。悪気がないため、堂々とやります。それだけで、違うことを理解して・・・

まだ記載の途中です。警察に「知ってほしい」こと、次回につづきます。法の理念に「共生社会を目指す」一項目があります。益々、本人活動は社会に溶け込む環境になるでしょう・・・そんな時、チヨトマツタと言える環境造りに・・・



大仙市手をつなぐ育成会

入会のご案内

障がい（児）者をもつ保護者として、悩みや要望を語り合ったり

福祉の増進のために活動する仲間になりませんか！

りねん 「利用者が一番のプロは私達 未来を作る出会いに夢を持つ」

◎ 会員 大仙市に住む障がい（児）者の保護者 ◎ 賛助会員 この主旨に賛同する方 地域問わず

◎ 年会費 2000円以上（会員・賛助会員同額）

◎ 入会申込先 会長 柴田貞二 TEL0187-65-2525 ◎ 事務局 新田亮子 TEL0187-69-3108

※ 入会の申込者には入会申込書、振込み用紙を送ります。

賛助会員名

| | | |
|---------|----------|--------------|
| 細谷 洋造 様 | 茂木建設(株)様 | 高橋 輝明 様 |
| 武田 雄平 様 | 泉 繁夫 様 | 中野 昭満 様 |
| 渡部 英治 様 | 樫 尾茂 様 | 佐藤 育男 様 |
| 佐藤 芳郎 様 | 千馬 洋子 様 | 鈴木 明 様 |
| 古谷 武美 様 | 村上 哲郎 様 | |
| 鎌田 英寿 様 | 児玉 裕子 様 | 平成27年12月1日現在 |

左記の方々が平成27年度、大仙市手をつなぐ育成会（以下、育成会という）賛助会員の皆様です。皆様のご支援によって育成会では正常な形で運営がなされている事に感謝申し上げます。正会員の高齢化等の理由によって会員数の減少が続いております。しからば若い方の加入も少なく、賛助会員に頼っているのが現状です。青森県、秋田市、湯沢市、横手市、美郷町と地域を問わず、ご支援を頂いている事にも感謝申し上げます。育成会では年2回の機関紙発行して皆様に情報をお届けするのが推一、温情に報いる手段であると思っております。愛読のほどお願い申し上げます。

大仙市知的障がい者相談員

| | | | |
|-------------|--------------|------------|--------------|
| 飛澤ヒロ子（小貫高加） | 0187-62-3715 | 三浦ミサ子（鍵見内） | 0187-56-2299 |
| 進 藤 功（六郷西根） | 0187-65-2622 | 藤原正人（協和船岡） | 018-893-2139 |
| 工藤正悦（北檜岡） | 0187-72-3333 | 新田亮子（払田） | 0187-69-3108 |
| 佐々木文雄（大沢郷） | 0187-78-1656 | 高橋哲美（太田町） | 0187-89-1139 |

※在宅支援や障がいのある方の身近な相談役として活動しています。秘密は厳守しますので、普段の生活のことや障がいのことなどをご相談ください。なお、相談員に関することは生活支援課に問い合わせ下さい。

大仙市生活支援課 TEL0187-63-1111（内線162番）

※ 秋田県手をつなぐ育成会・H・Pアドレス <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

編集後記

平成27年度、2回目の機関紙発行です。大仙市手をつなぐ育成会の今年度事業は大半終了しました。本人活動支援事業を含めて役員皆様の労に感謝申し上げます。第57回手をつなぐ育成会秋田県大会が8月30日、能代市民会館で開催されました。全県から500名を超え、盛大に開催されました。来年度は由利本荘市になり、平成29年度はいよいよ仙北平野での開催が待っています。大仙市、仙北市、美郷町を一括しての開催です。主人公は会員、皆様になります。今から心して有意義な大会を目論んで頂きたいと思っております。賛助会員の皆様には今年度も多大なるご支援を頂き有難う御座いました。平成28年度も引き続きご支援のほどお願い申し上げます。本人活動支援事業であります「ホーリングとカラオケに集まれ」今年で3回目でした。今後も引き続き開催できる事を関係機関に働きたいと思っております。しかも、体験なされたお母様2名から、感想文を頂きました。これも初めての事例になります。ありがとうございました。 Teiji shibata